

小倉生健会の会報

「生活と健康を守る」発刊

皆さんこんにちは。「小倉生健会」です。

生健会運動は60年を超える歴史をもつ運動ですが、小倉生健会は9年前に再建されました。まだまだ会員数も少ないのですが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合い言葉に、今は生活保護をはじめとする生活困窮者問題や、貧困と格差を是正するための運動、そして生存権を守るための裁判闘争も行っています。

これからは、全国の生健会が行っている医療、介護、年金、税金、雇用、住宅、子育て教育、平和の運動なども強化し、会員を増やし地域の中でしっかりとした役割を果たすことができるよう頑張る決意です。

そうした思いで、このたび小倉生健会の会報「生活と健康を守る」を発行しました。是非お読みいただき、皆さまのお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

《第10回小倉生健会総会開催》

全生連小倉生健会が再建されて、まる10年になりました。10年前と言えば、「おむすび食べたい」の餓死事件が頻発した時です。

総会では、生活保護の水際作戦が未だに改善されていない現状を変えていこう。生活保護だけでなく、医療・介護・平和や雇用などについても、運動の幅を広げ、生活困窮者、低所得者の生活と健康を守る。そのためにも、会員を現状の3倍近い100世帯に広げることを決意しました。



総会には日本共産党の柳井誠市議会議員が参加し、激励のご挨拶をいただきました。



小倉生健会
生活と健康を守る
 一人はみんなのために、みんなは一人のために



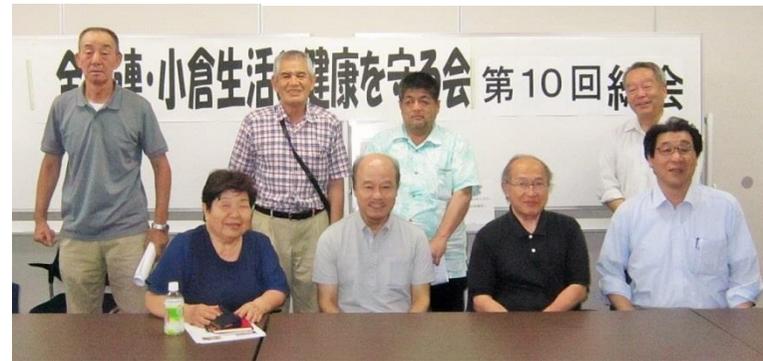
私の要求

吉田団地の班会議

小倉南区吉田で班会議が開かれ「私の要求」が出されました。

広大な市住吉田団地には、小さな公園が多くあり、親子づれや、子どもたちが利用しています。しかし、公園にトイレが一箇所もありません。広大な団地全体に公衆トイレがないため、男の子は立ち〇〇をしています。公園近くの会員さん宅に頻りに子どもがトイレを借りに来ているので、団地内に公衆トイレを作ってください。

他にも、ごみステーションのカラスよけや吉田から沼に行くための道路を整備してほしいなどの「私の要求」が出されました。



小倉生健会とは小倉北区と小倉南区における生健会です。

昭和29年に誕生した全国組織、全生連は「働かせろ！食わせろ！病気をなかせ！」のスローガンをかけて、創立以来63年間にわたって、人間らしく生きることを（生存権保障）を求めて運動をひろげ、国や自治体に暮らしに役立つ、皆さんの制度を実施・改善させてきました。

◇生健会＝生活と健康を守る会とは◇

「チヨット一言」

「おむすび食べたい」餓死事件から10周年 記念集会 in 北九州

～あれから10年、日本の生活保護はよくなったか～

9月30日(土) 総会：13時～13時半

集会：13時半～16時半

会場：ムーブ5階(小倉北区大手町)

<記念対談>

雨宮処凛：反貧困ネットワーク副代表・週刊金曜日編集委員

尾藤廣喜：弁護士・生活保護問題対策全国会議代表委員

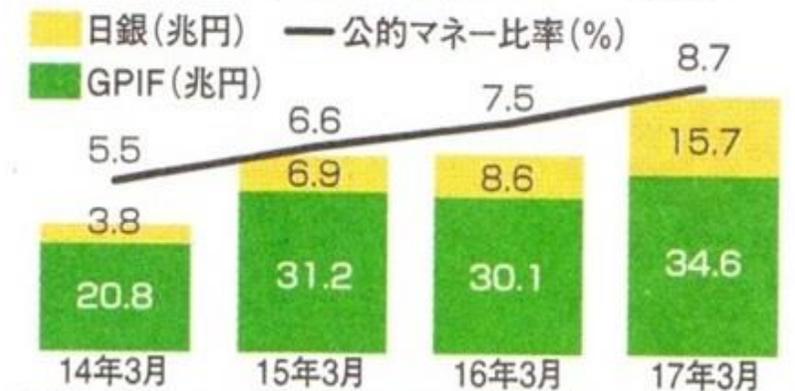
<報告>

北九州餓死事件から10年 高木健康

生活保護支援九州沖縄ネットワークのあゆみ 高木佳世子



国内株式市場での公的マネーの推移



時価ベース。公的マネー比率は、新興市場も含む国内株式時価総額に対する比率

えっふーん 年金の積立金と日本銀行が株を買い支え 50兆円

国民の年金積立金が株を買い支えていることは知られていましたが、さらに、日本銀行も同じことをしていました。その合計金額はなんと50兆円にもなります。

東証1部上場企業(大企業)の実に3割で「公的なお金」が、筆頭株主となる異常さです。大企業に投入された「公的なお金」は、トヨタ1.5兆円、三菱UFJ1.7兆円、ソフトバンク1兆円です。不安定な株価を支えるためでなく、国民にお金を回して日本経済を元気にしよう。